

安中市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (令和2年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 30年度の人件費率
元年度	人	千円	千円	千円	%	%
	57,382	23,167,803	875,115	3,728,622	16.1	16.4

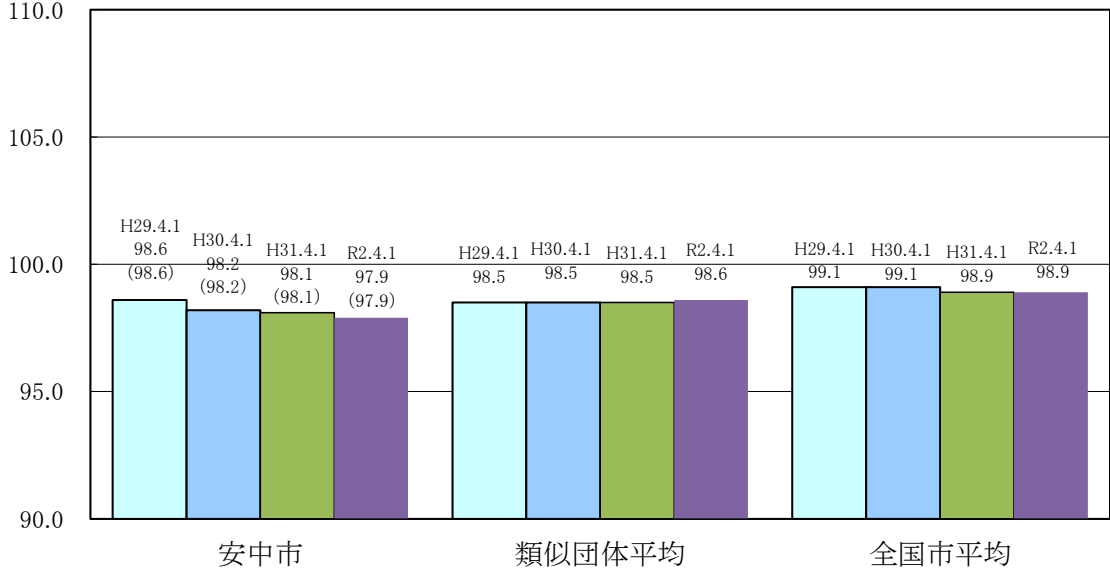
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
元年度	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	418	1,502,520	280,702	604,823	2,388,045	5,713	5,936

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成31年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況

(例)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 () 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。
 (補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)
 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

※ 2年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）平成29年4月1日
（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。激変緩和のため、2年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。
他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合）未支給地であるため、国基準と同じ
（実施時期） -

③その他の見直し内容

特になし

(6) 特記事項

特になし

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和2年4月1日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
安中市	40.7 歳	311,800 円	370,017 円	343,931 円
群馬県	43.4 歳	334,700 円	409,596 円	366,866 円
国	43.2 歳	327,564 円	—	408,868 円
類似団体	41.8 歳	313,887 円	384,720 円	349,835 円

②技能労務職

区 分	公 務 員					民 間			参 考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
安中市	50.3 歳	34 人	317,800 円	350,785 円	332,891 円	—	—	—	—
うち清掃職員	42.0 歳	7 人	306,900 円	365,100 円	339,557 円	廃棄物処理事業	46.2 歳	300,100 円	1.22
うち学校給食	58.4 歳	8 人	318,900 円	324,600 円	318,900 円	調理士	44.0 歳	259,200 円	1.25
うち用務員	51.9 歳	8 人	326,300 円	339,288 円	334,825 円	用務員	55.9 歳	207,900 円	1.63
群馬県	53.7 歳	73 人	349,000 円	376,220 円	367,353 円	—	—	—	—
国	50.9 歳	2319 人	287,283 円	—	328,862 円	—	—	—	—
類似団体	51.7 歳	26 人	305,035 円	334,887 円	320,913 円	—	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
安中市	—	—	—
うち清掃職員	5,852,600 円	4,166,100 円	1.40
うち学校給食	5,371,000 円	3,425,100 円	1.57
うち用務員	5,554,056 円	2,862,400 円	1.94

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成29～31年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(2) 職員の初任給の状況（令和2年4月1日現在）

区 分		安 中 市	群 馬 県	国
一般行政職	大 学 卒	182,200 円	187,200 円	182,200 円
	高 校 卒	150,600 円	153,900 円	150,600 円
技能労務職	高 校 卒	150,600 円	149,500 円	— 円
	中 学 卒	— 円	— 円	— 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和2年4月1日現在）

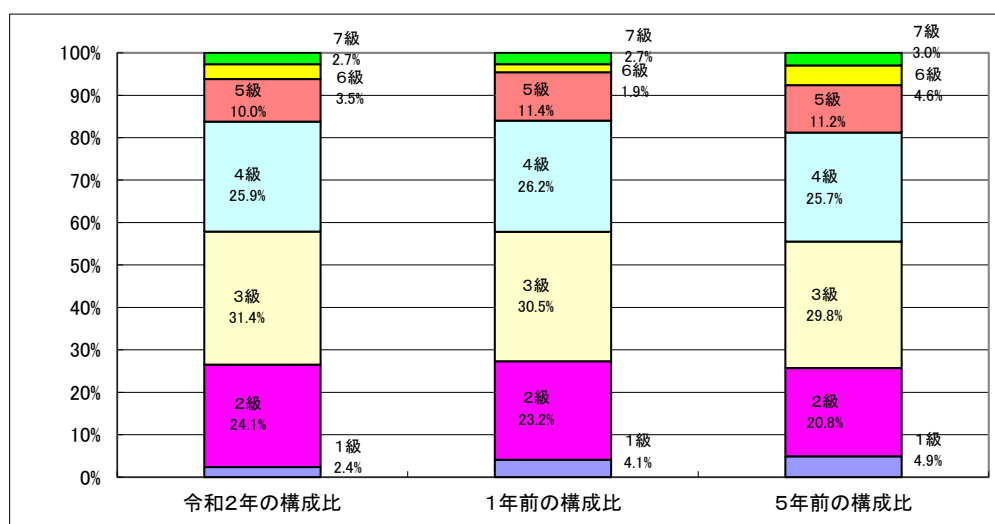
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	269,429 円	344,008 円	370,370 円	397,336 円
	高 校 卒	238,580 円	— 円	363,630 円	380,056 円
技能労務職	高 校 卒	— 円	— 円	317,750 円	332,625 円
	中 学 卒	— 円	307,400 円	304,600 円	334,767 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和2年4月1日現在）

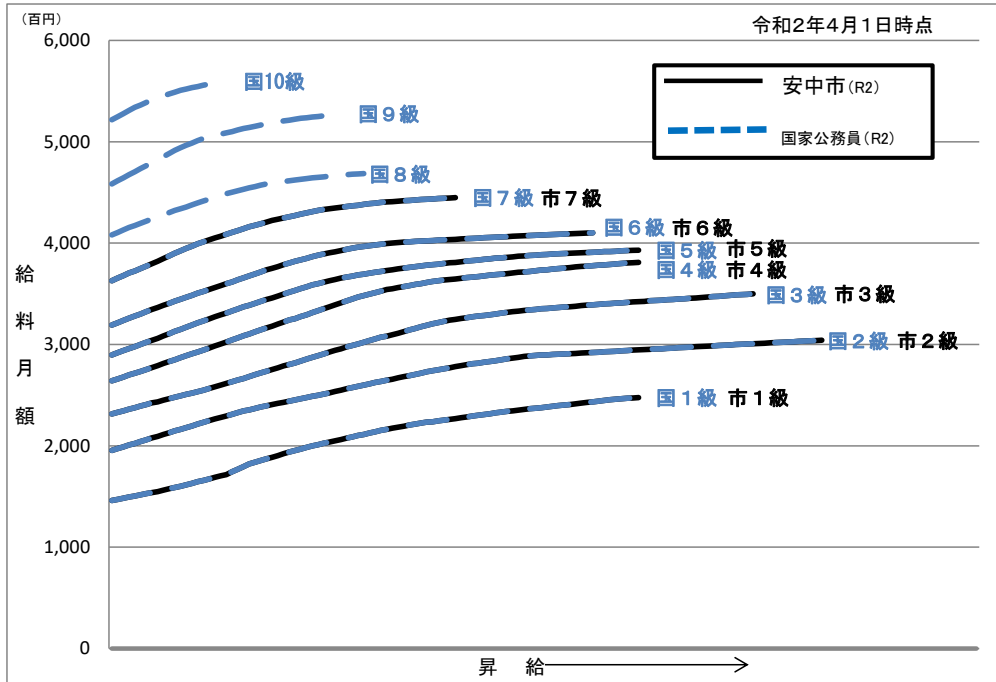
区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
7級	部長	10人	2.7%	362,900円	444,900円
6級	参事	13人	3.5%	319,200円	410,200円
5級	課長 主幹	37人	10.0%	289,700円	393,000円
4級	課長補佐 係長 主査	96人	25.9%	264,200円	381,000円
3級	主査 主任	116人	31.4%	231,500円	350,000円
2級	主事 技師	89人	24.1%	195,500円	304,200円
1級	主事補 技師補	9人	2.4%	146,100円	247,600円

- (注) 1 安中市区町村の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年10月1日に9級制から7級制に変更している。（旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合）

(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和2年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（安中市）

令和2年4月2日から令和3年4月1日までにおける運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している				
活用している昇給区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分				
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）				
ロ 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	未定		未定	

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

安中市	群馬県	国
1人当たり平均支給額(元年度) 1,449 千円	1人当たり平均支給額(元年度) 1,703 千円	-
(元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5～20% ・管理監督者加算10～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5～20% ・管理監督者加算10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（安中市）

令和2年度中における運用	管理職		一般職員	
イ 人事評価を活用している				
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率				
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ（一律）				
ロ 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	未定		未定	

(2) 退職手当（令和2年4月1日現在）

安中市			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置 割増率2～20%			定年前早期退職特例措置 割増率2～45%		
(退職時特別昇給 無し)					
1人当たり平均支給額 5,384 千円 17,739 千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(令和2年4月1日現在)

支給実績(元年度決算)		394 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(元年度決算)		131,217 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
前橋市	3 %	2 人	3 %
高崎市	6 %	1 人	6 %

(4) 特殊勤務手当 (令和2年4月1日現在)

支給実績(元年度決算)		2,882 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(元年度決算)		44,343 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(元年度)		14.0 %		
手当の種類(手当数)		17種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (元年度決算)	左記職員に対する支給 単価
市税徴収業務手当(滞納整理)	市税徴収係員(滞納整理)	滞納整理業務	49千円	月額150円
行旅病人保護業務手当	行旅病人保護に従事	行旅病人保護・救護	- 千円	月額1,000円
行旅死亡人取扱業務手当	行旅死亡人の収容作業	行旅死亡人収容業務	- 千円	月額3,000円
社会福祉業務手当	社会福祉に従事(指導又は相談)	生活保護、知的障害者、身体障害者、心身障害者又は精神障害者に係る指導等	451千円	月額150円
感染症患者収容・患家消毒作業手当	感染症患者収容及び患家消毒作業に従事	感染症患者収容及び患家消毒業務	- 千円	月額500円
火葬業務手当	火葬業務(苑長)	事務及び火葬業務補助	- 千円	月額10,000円
	火葬業務(技術作業員)	火葬業務	600千円	月額50,000円
給食調理業務手当	給食調理業務等に従事	学校・保育所	199千円	月額1,000円
夜間看護手当	夜間の看護業務に従事	深夜全部(7時間以上)	- 千円	1夜7,300円
		深夜(4時間以上7時間未満)	- 千円	1夜3,550円
		深夜(2時間以上4時間未満)	- 千円	1夜3,100円
		深夜(2時間未満)	- 千円	1夜2,150円
拘束手当	医師の職、医療給料表(2)又は(3)の適用を受ける職員	医師の職	- 千円	平日の1夜2,500円
			- 千円	土、日、休日10,000円
		医療職給料表(2)又は(3)の適用を受ける職員	- 千円	平日の1夜2,500円
			- 千円	土、日、休日5,000円
診療・調査研究手当	医師(診療の実績に応じて支給)	診療技術研究に従事	- 千円	月80,000円以内で規則に定める額
	医師(経験年数に応じて支給)	医療の調査研究に従事	- 千円	月220,000円以内で規則に定める額
緊急診療業務手当	医師	勤務時間外に緊急診療業務・透析業務に従事	- 千円	1回45,000円以内で規則に定める額
夜間診療取扱手当	宿直業務において特別な事情により診療業務に従事	医師の職 医療職給料表(2)又は(3)の適用を受ける職員	- 千円	1時間2,500円
緊急呼出出勤手当	上下水道部、病院、クリーンセンターに勤務	緊急時に呼出を受け出勤した場合	7千円	1回500円
クリーンセンター業務手当	クリーンセンター現場作業員	現場作業に従事した日数	1,558千円	1日800円
上下水道料金未収整理手当	上下水道部職員	料金の徴収、滞納整理業務	17千円	月額150円
浄水手当	浄水場勤務職員及び簡易水道管理職員	水質検査、電気設備の操作、塩素類の取扱及び水道資源の巡視	- 千円	係長以上 月額1,000円
			- 千円	その他 月額3,000円
下水手当	下水道職員	マンホール内での維持管理業務	- 千円	1日500円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(令和元年度決算)	108,364 千円
職員1人当たり平均支給年額(令和元年度決算)	224 千円
支給実績(30年度決算)	75,388 千円
職員1人当たり平均支給年額(30年度決算)	154 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(令和元年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (令和2年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (元年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (元年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 1 配偶者 6,500円 2 子 1人につき10,000円 3 父母等 6,500円 4 特定年齢にある子 5,000円	同	—	47,641 千円	250,744 円
住居手当	借家・借間 家賃に応じ支給 27,000円限度	異なる	支給対象となる家賃額の下限及び手当額の上限額	20,769 千円	262,892 円
通勤手当	1 交通機関利用 55,000円限度に支給 2 交通用具使用 距離に応じ支給(2km以上) 4,100円～31,600円	異なる	距離区分支給額	28,819 千円	70,635 円
単身赴任手当	異動等で住居を移転しやむを得ず配偶者と別居し単身で生活する場合 1 基礎額 23,000円 2 加算額6,000円～45,000円	同	—	— 千円	— 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある一定範囲の職員に対して、その特殊性に基づいて支給 行政職給料表(一) 42,900円～74,300円	異なる	支給区分支給額	85,206 千円	608,613 円
初任給調整手当	専門知識、技術を必要とし、かつ、採用の欠員の補充が困難な職 1 保健師 2 医療職給料表(一)の適用を受ける医師 48,500円～308,600円	同	—	168 千円	84,000 円
夜間勤務手当	午後10時～午前5時まで勤務 時間給×25%×勤務時間数	同	—	— 千円	— 円
休日勤務手当	休日及び年末年始に勤務 時間給×135%×勤務時間数	同	—	— 千円	— 円
宿日直手当	1 一般の宿日直 4,400円 2 確水病院の職員 ・医師 12,400円～24,800円 ・医師以外 4,000円～10,000円	一部異なる	医師 24,800円	5,438 千円	19,149 円
管理職特別勤務手当	管理職手当の支給を受ける職員が臨時又は緊急に週休日又は休日に勤務 勤務1回 5,000円～9,000円 6時間超勤務×150/100	同	—	1,994 千円	12,946 円

5 特別職の報酬等の状況（令和2年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等		
給 料	市区町村長	890,000 円 (円)	(参考)類似団体における最高/最低額 1,053,000 円/ 616,000 円	
	副市町村長	730,000 円 (円)	870,000 円/	596,000 円
報 酬	議 長	430,000 円 (円)	629,000 円/	385,000 円
	副 議 長	380,000 円 (円)	575,000 円/	330,000 円
	議 員	360,000 円 (円)	530,000 円/	308,000 円
期 末 手 当	市区町村長 副市町村長	(元年度支給割合) 4.45 月分		
	議 長 副 議 長 議 員	(元年度支給割合) 4.45 月分		
退 職 手 当	市区町村長 副市町村長	(算定方式) 給料月額×勤続月数×40/100 給料月額×勤続月数×25/100	(1期の手当額) 17,088,000円 8,760,000円	(支給時期) 任期ごと 任期ごと
	備 考			

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

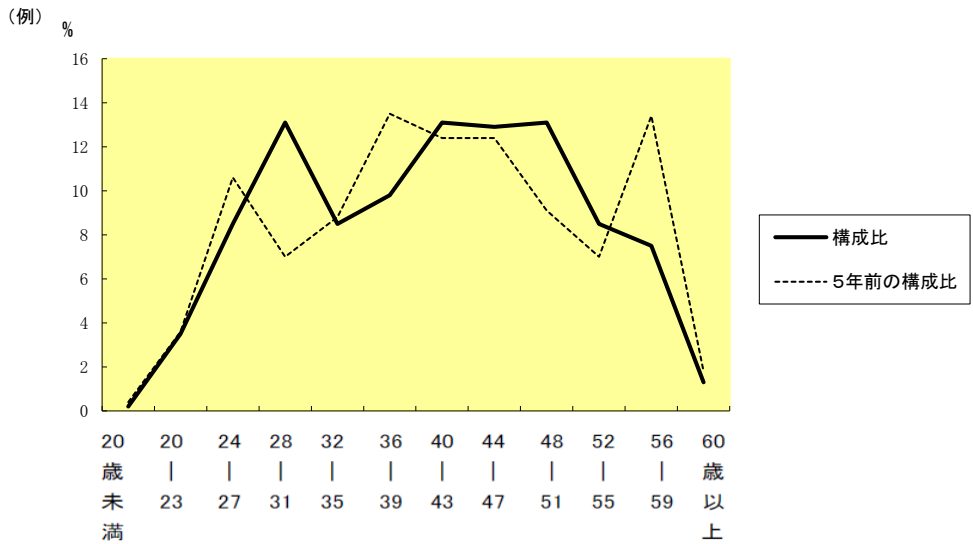
(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由	
		令和2年	令和元年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	5	5	0	事務の統廃合縮小、秘書課付け職員の復職
		総 務	106	109	▲3	
		税 務	33	33	0	
		民 生	65	65	0	
		衛 生	43	43	0	
		労 働	1	1	0	
		農林水産	28	29	▲1	
	商 工	10	10	0	組織見直しによる配置換え	
	土 木	43	40	3		
		計	334	335	▲1	<参考> 人口1万人当たり職員数 58.21 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 56.71 人)
	教育部門	77	80	▲3	欠員不補充	
	消防部門	3	3	0		
	小 計	414	418	▲4	<参考> 人口1万人当たり職員数 72.15 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 74.02 人)	
公 営 企 業 計 等 部 門	病 院	138	140	▲2	欠員不補充	
	水 道	33	33	0		
	下水道	11	11	0		
	その他	40	38	2	欠員補充、業務増	
	小 計	222	222	0		
	合 計	636 [793]	640 [793]	▲4	<参考> 人口1万人当たり職員数 110.84 人	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（令和2年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	1人	23人	54人	83人	54人	63人	83人	82人	83人	54人	48人	8人	636人

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

部門別 \ 年度	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	338	342	341	341	335	334	▲4(▲1.2%)
教育	93	92	84	80	80	77	▲16(▲17.2%)
消防	0	2	2	2	3	3	3(-%)
普通会計	431	436	427	423	418	414	▲17(▲3.9%)
公営企業等会計	238	241	236	231	222	222	▲16(▲6.7%)
総合計	669	677	663	654	640	636	▲33(▲4.9%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。
 2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 病院事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実質 収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 30年度の総費用に占 める職員給与費比率
元年度	千円	千円	千円	%	%
	2,698,923	△ 46,887	1,289,147	47.8	48.9

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)市町村平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
元年度	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	138	544,502	173,401	221,619	939,522	6,808	7,618

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、令和2年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

無し

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (令和2年4月1日現在)

区分	職区分	平均年齢	基本給	平均月収額
安中市	医師	54.2 歳	712,852 円	1,659,731 円
	看護師	44.4 歳	295,983 円	478,558 円
	事務員	41.5 歳	332,307 円	509,882 円
市町村平均	医師	45.2 歳	568,569 円	1,454,715 円
	看護師	39.3 歳	311,575 円	510,182 円
	事務員	43.2 歳	348,357 円	564,341 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

安 中 市		安中市 (一般行政職)	
1人当たり平均支給額(元年度)		1人当たり平均支給額(元年度)	
1,606 千円		1,449 千円	
(元年度支給割合)		(元年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.90 月分	2.60 月分	1.90 月分
(1.45)月分	(0.90)月分	(1.45)月分	(0.90)月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5~15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5~15%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当 (令和2年4月1日現在)

安 中 市			安中市 (一般行政職・団体平均等)		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%		その他の加算措置		
(退職時特別昇給 無し)			(退職時特別昇給 無し)		
1人当たり平均支給額	1,335 千円	15,134 千円	1人当たり平均支給額	5,384 千円	17,739 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、元年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

(令和2年4月1日現在)

支給実績(元年度決算)		11,336 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(元年度決算)		1,133,592 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
医師	16 %	10 人	- %

エ 特殊勤務手当 (令和2年4月1日現在)

支給実績(元年度決算)		52,703 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(元年度決算)		378,417 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(元年度)		93.5 %		
手当の種類(手当数)		6種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績(元年度決算)	左記職員に対する支給単価
夜間看護手当	夜間の看護業務に従事	深夜全部(7時間以上)	4,110千円	1夜7,300円
		深夜(4時間以上7時間未満)	6,458千円	1夜3,550円
		深夜(2時間以上4時間未満)	5,645千円	1夜3,100円
		深夜(2時間未満)	0千円	1夜2,150円
拘束手当	医師の職、医療給料表(2)又は(3)の適用を受ける職員	医師の職	95千円	平日の1夜2,500円
			200千円	土、日、休日10,000円
		医療職給料表(2)又は(3)の適用を受ける職員	1,790千円	平日の1夜2,500円
		1,745千円	土、日、休日5,000円	
診療・調査研究手当	医師(診療の実績に応じて支給)	診療技術研究に従事	7,223千円	月80,000円以内で規則に定める額
	医師(経験年数に応じて支給)	医療の調査研究に従事	20,880千円	月220,000円以内で規則に定める額
緊急診療業務手当	医師	勤務時間外に緊急診療業務・透析業務に従事	2,996千円	1回45,000円以内で規則に定める額
夜間診療取扱手当	宿直業務において特別な事情により診療業務に従事	医師の職	625千円	1時間2,500円
		医療職給料表(2)又は(3)の適用を受ける職員	622千円	1時間500円
緊急呼出出勤手当	上下水道部、病院、クリーンセンターに勤務	緊急時に呼出を受け出勤した場合	315千円	1回500円

オ 時間外勤務手当

支給実績(元年度決算)	14,065 千円
職員1人当たり平均支給年額(元年度決算)	147 千円
支給実績(30年度決算)	11,980 千円
職員1人当たり平均支給年額(30年度決算)	105 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(元年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（令和2年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (元年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (元年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 1 配偶者6,500円 2 子 1人につき10,000円 3 父母等6,500円 4 特定年齢にある子 5,000円	同	-	13,952 千円	253,664 円
住居手当	借家・借間 家賃に応じ支給 27,000円限度	同	-	4,381 千円	337,002 円
通勤手当	1 交通機関利用 55,000円限度に支給 2 交通用具使用 距離に応じ支給(2km以上) 4,100円～24,500円	同	-	9,552 千円	86,055 円
単身赴任手当	異動等で住居を移転しやむを得ず配偶者と別居し単身で生活する場合 1 基礎額 23,000円 2 加算額6,000円～ 45,000円	同	-	0 千円	0 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある一定範囲の職員に対して、その特殊性に基づいて支給 行政職給料表(一) 42,900円～74,300円 医療職給料表(一) 62,500円～146,400円 医療職給料表(二) 41,200円～57,600円 医療職給料表(三) 26,100円～59,200円	異なる	支給区分 支給額	27,397 千円	684,930 円
初任給調整手当	専門知識、技術を必要とし、かつ、採用の欠員の補充が困難な職 1 保健師 2 医療職給料表(一)の 適用を受ける医師 48,500円～308,600円	異なる	医師免許取得後の経過 年数区分による	16,235 千円	2,705,750 円
夜間勤務手当	午後10時～午前5時まで勤務 時間給×25%×勤務時間数	同	-	8,842 千円	173,377 円
休日勤務手当	休日及び年末年始に勤務 時間給×135%×勤務時間数	同	-	0 千円	0 円
宿日直手当	1 一般の宿日直 4,400円 2 確氷病院の職員 ・医師 12,400円～ 24,800円 ・医師以外 4,000円～ 10,000円	異なる	医師、医師 以外で単価 が異なる	14,681 千円	257,568 円
管理職特別勤務手当	管理職手当の支給を受ける職員が 臨時又は緊急に週休日又は休日に 勤務 勤務1回 5,000円～ 9,000円 6時間超勤務×150/100	同	-	112 千円	14,000 円

(2) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実質 収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 30年度の総費用に占 める職員給与費比率
元年度	千円	千円	千円	%	%
	1,152,890	63,878	249,962	21.7	20.6

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費 21,016千円を含まない。

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)市町村平均 一人当たり給与費 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計 B 千円		
元年度	人	千円	千円	千円	千円	千円	
	36	126,684	24,687	34,044	185,415	5,150	6,958

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、令和2年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

無し

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (令和2年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
安中市	42.8 歳	300,683 円	429,201 円
市町村平均	43.5 歳	361,318 円	578,084 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

安中市		安中市 (一般行政職)	
1人当たり平均支給額(元年度)		1人当たり平均支給額(元年度)	
946 千円		1,449 千円	
(元年度支給割合)		(元年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.90 月分	2.60 月分	1.90 月分
(1.45)月分	(0.90)月分	(1.45)月分	(0.90)月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5~15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5~15%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当 (令和2年4月1日現在)

安中市			安中市 (一般行政職・団体平均等)		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%	
(退職時特別昇給	無し)		(退職時特別昇給	無し)	
1人当たり平均支給額	千円	16,258 千円	1人当たり平均支給額	5,384 千円	17,739 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、元年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

(令和2年4月1日現在)

安中市は該当ありません。

エ 特殊勤務手当 (令和2年4月1日現在)

支給実績(元年度決算)				435 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(元年度決算)				16,754 円
職員全体に占める手当支給職員の割合(元年度)				72 %
手当の種類(手当数)				3種類
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (30年度決算)	左記職員に対する支給 単価
緊急呼出出勤手当	上下水道部、病院、クリーンセンターに勤務	緊急時に呼出を受け出勤した場合	60千円	1回500円
上下水道料金未収整理手当	上下水道部職員	料金の徴収、滞納整理業務	6千円	月額3,000円 (H31.3勤務、4月支給分)
上下水道料金未収整理手当	上下水道部職員	料金の徴収、滞納整理業務	57千円	日額150円
浄水手当	浄水場勤務職員及び簡易水道管理職員	水質検査、電気設備の操作、塩素類の取扱及び水道資源の巡視	24千円	係長以上 月額1,000円
			288千円	その他 月額3,000円

オ 時間外勤務手当

支給実績(元年度決算)	11,142 千円
職員1人当たり平均支給年額(元年度決算)	429 千円
支給実績(30年度決算)	8,271 千円
職員1人当たり平均支給年額(30年度決算)	318 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(元年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当 (令和2年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (元年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (元年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 1 配偶者 6,500円 2 子 1人につき10,000円 3 父母等 6,500円 4 特定年齢にある子 5,000円	同	—	3,211 千円	200,688 円
住居手当	借家・借間 家賃に応じ支給 27,000円限度	同	—	1,290 千円	258,000 円
通勤手当	1 交通機関利用 55,000円限度に支給 2 交通用具使用 距離に応じ支給(2km以上) 4,100円～24,500円	同	—	2,305 千円	74,352 円
単身赴任手当	異動等で住居を移転しやむを得ず配偶者と別居し単身で生活する場合 1 基礎額 23,000円 2 加算額6,000円～45,000円	同	—	千円	円
管理職手当	管理又は監督の地位にある一定範囲の職員に対して、その特殊性に基づいて支給 行政職給料表(一) 42,900円～74,300円	同	—	6,190 千円	619,020 円
夜間勤務手当	午後10時～午前5時まで勤務 時間給×25%×勤務時間数	同	—	千円	円
休日勤務手当	休日及び年末年始に勤務 時間給×135%×勤務時間数	同	—	千円	円